

構文150解説

2年生の皆さん。「構文の解説をしてほしい！」との要望がありましたので、春休みの構文課題の範囲後(p41の023)から少しずつ解説を載せていこうと思います。

① 023 cannot help doing 「思わず～してしまう」

構文150には

- ・ cannot help doing
= cannot help but do : 「思わず～してしまう」
- ・ have no choice but to do : 「(他の選択肢がなく)～せずにはられない」
- ・ cannot but do : 「思わず～してしまう」

という4つの構文が紹介されていますのでそれらの解説をしていきます。

○構文形成の歴史的経緯

これらの構文は「①cannot but do→②cannot help doing→③cannot help but doing」の順で形成されてきています。①は200年前くらいから使われはじめ、徐々に衰退し、②が使われるようになってきます。①と②が入れ替わるときに当時のネイティブスピーカーの間で混同が起こり、③が形成されます。現代の英語では①は古英語化しているので使いません。②と③が使われます。したがって皆さんは②と③のみを確認しておけばよいです。

○意味の訂正

構文150では

cannot help doing = cannot help but do : 「思わず～してしまう」

とありますが、この表現をすべて「思わず～してしまう」と訳すとうまくいかない場合があります。例えば

I couldn't help borrowing 100,000 yen from him.

(○私は彼から10万円借りざるをえなかった)

(△私は思わず彼から10万円借りてしまった)

という文章だと、「私は思わず彼から10万円借りてしまった」という少し違和感を感じる日本語ができてしまいます。皆さんは今回の表現を学ぶとき、「思わず～してしまう」ではなく「～せざるをえない」という意味で覚えてください。

○cannot help doing = cannot help but do は間違い？

次に「②cannot help doing = ③cannot help but do」についてです。構文150ではこれを「=」としていますが、実際は同じものではありません。③は②に比べて使える場面が限られるようです。

例えば以下の例文ですが、ネイティブにチェックしてもらおうと1は○で2は×になります。

1. I couldn't help but borrow money from my parents.

2. I couldn't help borrowing money from my parents.

(私は親からお金を借りざるをえなかった)

この説明として例えばウィズダム英和辞典では

cannot help but の後に後続するものは think, feel, wonder, notice, laugh, smile など

と説明しています。わかりやすく言い換えると cannot help but の後ろには「気持ちや心が動いたときに起こる動作」しか来れない」ということが言えます。

しかしこの説明に反して以下のような例がインターネット上のブログやニュース記事では見られます。

…If you have no attachment to personal identity, the door can't help open…

(もしあなたが個人のアイデンティティに愛着をもたなかったら、その心の扉は開かざるをえない)

「ニュース記事 BIROCO.COM A way to look at things より」

I could not help but tell the children about our financial situation.

(子どもたちにうちの家庭の状況を話さざるをえなかった)

「オーレックス英和辞典 より」

これらの反例を解くカギは「主語」と「状況」にあります。

まず1つ目の記事の例文は主語が the door になっており、人ではありません。ものに当然感情はないのでここの cannot help but は比喻表現になってしまいます。このように「主語」がモノのときはこのルールは適応されません。

次に2つ目の辞書の例文ですが、これは tell(話す)という動作単体には感情がこめられませんが、家計がひっ迫しているこの状況で「必死な気持ちで」話している状況を伺う限り、この tell にはなんらかの気持ちが入っていることが考えられます。このように状況よっての判断が必要な場合もあります。ただしここにあげた2つの例はすごく応用例なので、難しい人は今はスルーしましょう。

ちなみに「オーレックス英和辞典」は以下のような調査をネイティブ143人に行って結果を得ています。

Q 次の(a)~(d)のうちどれを使いますか。(複数回答可能)

(a) I couldn't help thinking that he was mistaken

(b) I couldn't help but think that he was mistaken

(c) I couldn't but think that he was mistaken

(d) どれもつかわない

結果 a→51% b→41% c→2% d→2%

aの「cannot help ing」の形が一番多いのは、おそらくこの表現が一番縛りがないためだと思います。皆さんも「~せざるをえない」を英訳するときは「cannot help ing」を選ぶのが一番楽だと思いますよ。

○have no choice but to do : 「(他の選択肢がなく)~せずにはいられない」

この表現も同じように使えます。ちなみに but は「しかし」以外の意味で「~以外」という意味も持ちます。ここでは「to do “以外” 何も選択肢はない」という意味です。